において敵飛行機合計五十六機を撃墜又は撃破せ 一) 比島方面空戦 撃墜大型六機 (中

大本營海軍部發表 (卅日午後三時卅五分)=一、帝國海軍航空部隊は連日に亘

士を索敵攻

の各航空基地に分散逃避せる殘存敵機を掃蕩すると共に南支那海、

| 次日 水 | か一 の 単記響源性大 | しか も わが徹水戯仕箋 貴が謎るところでは大丈夫と徹水 もにアメリカ海軍の所手たらう 嬰ハセこよと患じてある ことば 中機にならぬ て | 中職となった範疇水戯の | 歌歌 著祭諷鍼を修と懇歌貴の慰光ととだはか多数の酢煮水戲に大龍雲か | ろではこれを明臓に楽館浄漱する | べると気影の裏がある、紫歌され | 憑水戲であらう。これらの波覚は

デン外相が

を訪問せずる首相、華

リ大使が言明

餌食となる米英の痛手甚大

攻略の確悪鬼骸を謝してあまりが されてしまつたといふのだ、わが されてしまったといふのだ、わが かっているのだ。わが

使歸國の途に

英の説得、使嗾効な

戦争に捲込むやう歴道 英國側がソ聯を大東亜 の價値は認められるがで

から学び上るや客やパツと探照に

が方は潜水艦一隻を失へり 【註】若潜水艦には特殊潜航艇を含ます、大隻を確實に撃沈せるほか、多數の敵潜水艦に大損害を與へたり、なほ現在までに西太平洋方面の敵潜水艦を掃蕩中なるごころ開戰以來廿八日までに敵潜水艦合計本營海軍部發表(世日午後三時世分)― 帝國海軍は艦艇ならびに飛行機をもつて



含戦果地

问题 劈皮亦谓里江州

小ツトプリングスへ即つた、

重光大使赴任

多大の戦果を揚げたシンガポールの夜間大空襲

陸

EN 光る二十六日陸紀によって戦 にマレー崩裂〇〇基地二十九日同

やがて各隊毎に命令が

- 前款○○基地二十九日同 | 際に機碎し マレーの敗敵列車を粉碎 が、記者は特に許されて、この際 然たる勝部を立てて保険してある。

世界人の最早干を 版

数州带大栗村

雄

吉

著

送價 料五 二百 二百

現論に結びつけたもの。原理の上に再格成し、更原理の上に再格成し、更

法學通上 () 無限的人類 () 無限的人類 () 表現的人類 () 表現的人類

響型社論評本日

日推價格の一般理論 第230 日本 1年 1年 價格の一般理論 第230 京と経済 第230 明治 24 日本 1年 1年 價格の一般理論 第230 明治 24 日本 25 日本

最

新刊書

振替東京二四〇東京日本橋本町

が沼三郎著(『続剛舞:「四

裂に潰走し る雕ジラトラ被ツ河に

たはも斧が盛更む〇一の〇は走洲で県第一にのを破んにい州情廣峰〇七兵本に十 舟橋 聖一著 博文館

小說集

永芳郎著 (四六門) 劉邦・三〇

翼の人々 浩著

(部の大東) 選科・10

で推新松品のに選択へ!

線の日音順

★版華豪の學文純★

(銭五十四 優定)

(養十五億定)

三萬六千噸を撃沈破ルソン周邊の船舶

全部隊のマニラ空襲戦果中比島臨

総唯敷約三萬六千七百畑に上ると

米比軍の退却に一大痛棒

敵を猛攻撃

作前門

き師よき友たるやう苦心編輯してゐます はしぐ内容に大革新を加へ、お子様のよ本誌は國策に進んで協力し、時局にふれ 本誌は國策に進んで協力し、 お正月の遺物にノ聖戦正と迎ふたのとい

【上海二十日同盟】當地に達した一外の石油タンクに命中、大火災 セブ市大火災 石油タンクに爆弾命中 せずなほ燃えついけてあるといは

→海方面空戦 撃隊大型二機(何れも

方面にある 多数で

南支那海、セレベス海、スル

英領ポルネオ方面空戦

爆擊破大型六機

だ歸還せざるもの一機る我方飛行機の損害自爆せるも (3) 廿二日以後二十八日迄の ハ) 廿八日船舶六隻大破

Ø

海鷲、イロイロ飛行場(比島)を猛爆撃

夏夏新田武 🛆 神東田京 1

生年五県





(鏡五十四 價定)

数を爆砕せり、

帝國海軍航空部隊はルソン島に

国民

(藤原第州四回)及び第五六回文

脳田祭次郎の三中

教香港の建設 動を掛てた海井陸重最|重官氏の終元的熱型に悪へ動を掛てた海井陸重最|重官氏の終元的熱型に極力 中國民よ今こそ醒めよ!

酒井最高指揮官語る

の館學小 多组

(錢五十四 信定)

民

(銭五十四 個定)

(錢五十四 間定)

戰死者































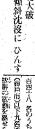












生存者











・基準にて)】(電送)

經濟體制の確立に前進原







智由ノーナム C七ーノニ住際保谷権原東 店支京県 (番七六本山南諸県)



菊池 寛

聖戦本義

中西化資獻野臨井 野谷見 添養村産 電源 一直和 明衛三駒忠臣大弘

語·SYNES 日本世紀社同

製綿配給統制

近く實施決定

目的達成に協力を望む

規則發布に際して 上龍殖産局長談

公敵米英擊破確信

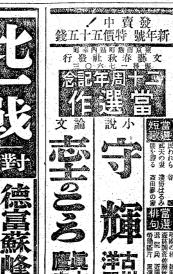
事務簡捷委員會

華僑は製書を

日本と共にせよ

0



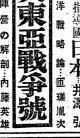




配給統制要綱

華大東亞戰爭號















走の消費街を覗く

寒潮何もの

新記 **図防献金** [三十日]

員 募 能

けいもで頭

(酸) 開 (酸) 開 (酸) 開 (酸) 開 (酸) 和 (要) 本 ()。 (酸) 和 (要) 本 ()。 (要) 本 (要) 本

平均十銭の値上げ

日晝の强盜

の意志

女化人諸家の決意大東亞戰に處する

無代進星

敷飲 さばれる

=-000

の全國漢店ニ有り

軟膏

坐藥

電話本稿(2)代表六一四一番 長 六一四六番

地厚で保温力に富む純絹 變り織の雅品。 若向。衛年配向等多領取撤 親・鼠・渡鼠 ⊗ ¥11.60

城職業 紹介

鮮無煙炭株式會

戦争に勝つために 人験ノ規定ニ依り比較日に三、東の関ラの関ラの関ラの関ラの関連を表現である。

受験学が設定された。 ・ 変更が表現された。 ・ 変更が表現と作り方 ・ 変更が表現と作り方 ・ 変更が表現と作り方 ・ 変更が表現と作り方 ・ できる。 ・ できる。

MARGIEN MARGIE

MARGAGN MARGARN MARGARN MARGARN MARGARN MARK



東部海岸地方においても日本航空部域の振騰は

入蔵だとなり、今地域に発の防衛戦を張りつくあるで、標物に命中弾を投下甚大なる 指書を

の戦果

真に憐れを極め、わが方道なき道に突入敵は四分五裂終に第2ペラ半原南方<数が方道なき道に突入敵は四分五裂終に至2ペラ半原南方<数数質で近回。廿八日午前十二十2((~)~~~)

要術〇〇に向け資走中「本質素の配管権たる医室でた」者したが、影響氏の窓におはの【十九日發】日本電部「撃中と傅へられるが、「影響ははくと甘れ日整郷県に【十九日發】日本電部「撃中と傅へられるが、「影響ははくと甘れ日整郷県に一大十、9 夕木 ルム 特電」の敵軍を消襲して猛進」等等「導力の勝女子を認める数の



街へ叫ぶ長期戦

街頭移動展覽會始る



瀬口さん陸海軍へ

感激の派あるのみ。 状が樹水脈、米本土沿岸 時の録音

笑止、比島軍の猿眞似決死隊 、粁に迫る

回門 | に対して必死の 旅戦を 試みる次 | ことは臓ひ難い

位一級を被進

陸軍省發表

太刀打は不可能

外人捕虜初の會見談

方面に上陸した友重と合能し一欄(マニラ時間)重びマニラ上会に現っするものといばれてあるとれによつで見れば言本面は〇〇 戯曲帯を跛螭、 遅ざ年後 寒時半 ーラシオ間を通過、一瓢間二とれによつで見れば言本面は〇〇 戯曲帯を跛螭、 遅ざ年後 寒時半 ーラシ末間を通過、一瓢間二

にマニラを衝かんとするもの」が、同一時五十分空といれば

敵の恐怖の的、海の猛鯱我潜水艦

油肝粒小縮濃中小 百粒・一円八〇ち養つて下さいりきンを補給し、 風邪ひき易い

| 「城津支局電話」 は城にる | 劇 物開 組 八 | 別 物開 組 八

元旦』-早朝九時郷
北 龍二・見明凡太郎・杉村春子・村田知英子
ル 狂見・鹿 夕起子・井梁四郎
北 龍二・見明凡太郎・杉村春子・村田知英子

次郎物語 日次 封 切 五 杉 裕之•幸 彦











島切の節は、八人務が元へ全腕行名音楽店にあり

目的質問食急慢食的温料。

含有せる理想的合剤であります。本剤は多量のヘーフエ植物ホルモンを

夕刊は本日附で休刊

、休刊ご

îþi 場 狀

況

我が人生一度往かば

無メ本はよの

新春元旦封切



九味浦海岸

勝を歌ふる調的な口碑がある 花が妍を競ってゐる、今回で いてある。白砂の豚所には属乳の 明砂・里に海棠の花よ 在三月再び來らば

方順綱と於出し本道唯一の大森林があり、海一てゐる、朝鮮で除りも有名である

代劇・特代映画の明朗さが

神演腸出

高山 廣子

な俗画、假説が多く世人に膾炙

夢金浦、九味浦は

東亞一の景勝地



總力運動頗る活潑 郡、警協力指導實踐

マキノ正博演出 小國英雄脚本

等にさ」れた時… **蛩蚊南京虫家ダニ**

寮です。 なカニさが止りアトがオデキにな る心配がないので家庭薬として弱 です。









報國證券時報初心者向投資智識の

御指名が

出物

術力を強化します 精核菌に對する防 でなく 肺炎菌や が優れてひる許り 質痛 り 環境の作解熱 が優れてひる許り でなく 肺炎菌や

管







國

躍動で氏站

栗の賣り方に就いて

吉川英治(作) 矢野橋村(龜)

優良畜牛は全鮮一

道長淵郡の持つ底

无僧(五士氏 七拾豆 (百五十八 一個五十錢

すくじ、苦しい咳嗽を切らげてその排泄をたや射着して居る固い痰塊を抑らげてその排泄をたやりない腹がなり、気道粘膜に 関着して居る固い痰塊を抑らげてその排泄をたや

塊を和らげる

おし、映る用さすが、明や監督の店で扱が悪がつおし、映る用さすが、明や監督の店で扱いた対するからです。それには宮に族のため、花いたりするからです。それには宮に族のため、花いたりますが、出ーコーフシンが一ばん質用せられます。





